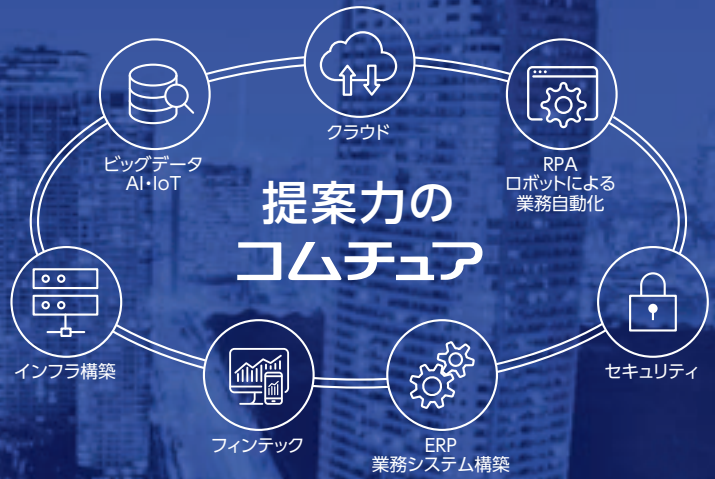


Business Report

第34期 株主通信
2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

ITで企業を変える！

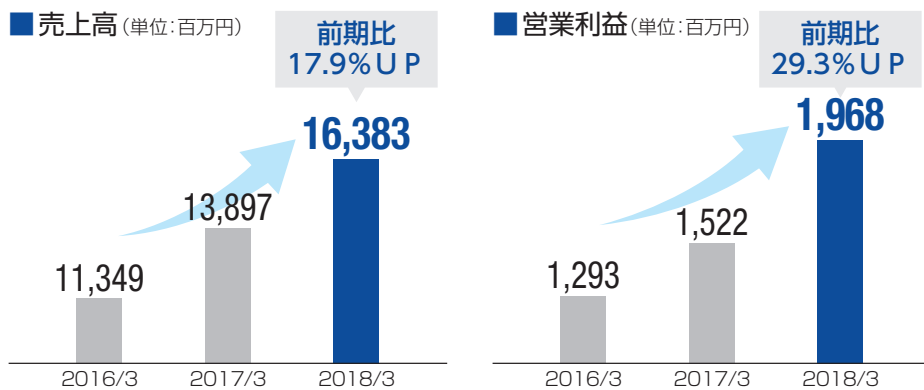


COMTURE
LEAD THE FUTURE

コムチュア株式会社
COMTURE CORPORATION
証券コード 3844

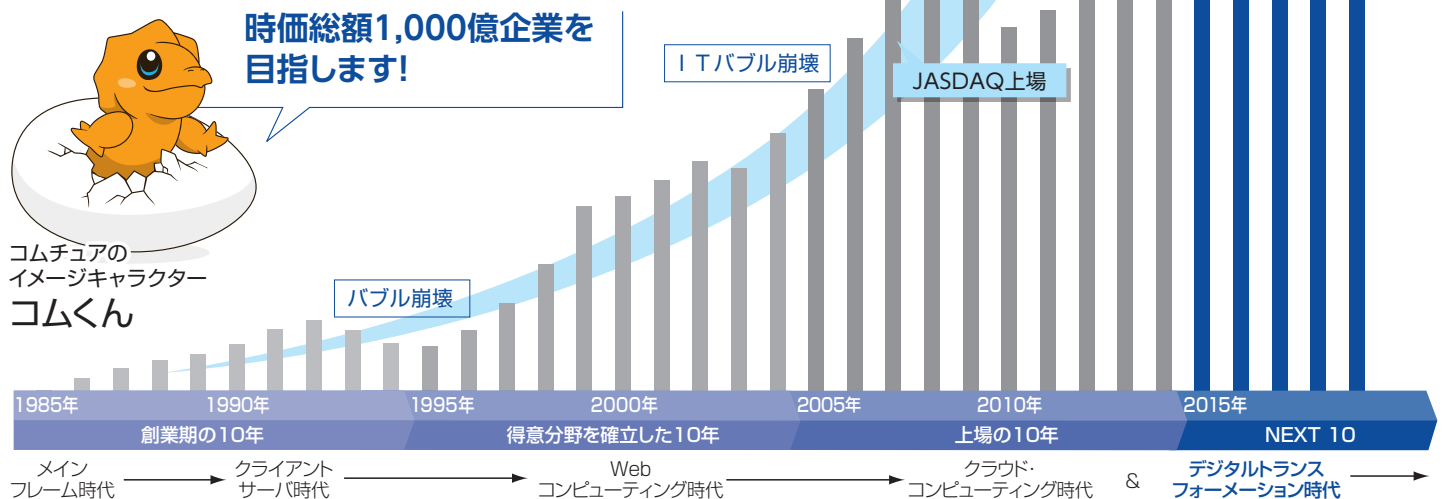
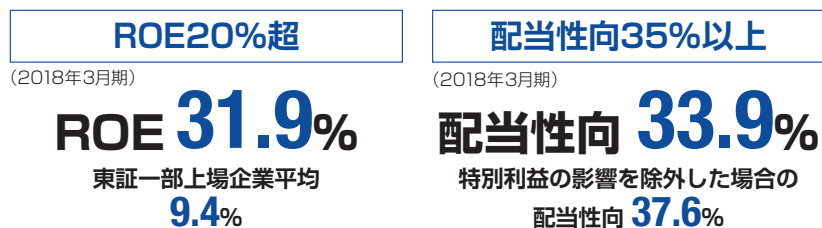
2018年3月期

売上高8期連続増収、営業利益7期連続増益 過去最高を更新！



創業以来 年平均成長率
15.5%で成長

高収益の維持と株主への還元



デジタルトランスフォーメーションで企業を変える!

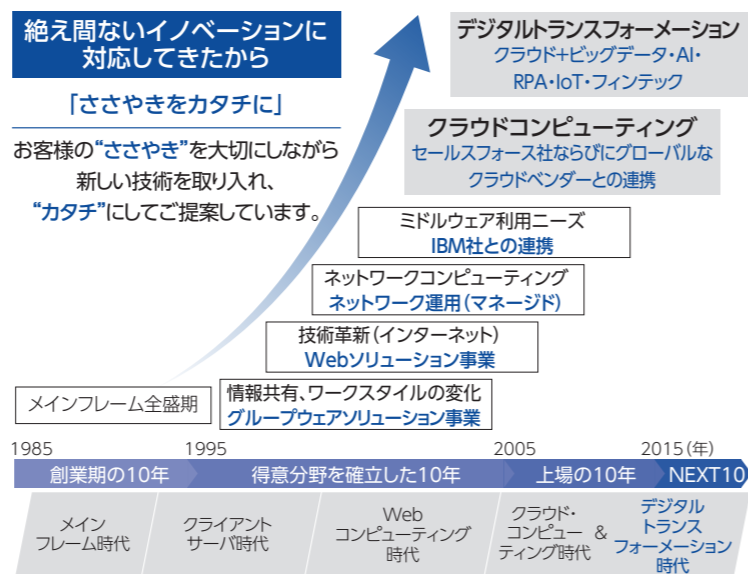
コムチュアグループは、クラウド技術をプラットフォームに、ビッグデータ・AI・RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)・IoT・フィンテックなど新しい技術を積極的に取り入れ、お客様の課題に対するコンサルティングから入り、IT化の提案から導入支援、保守サポートまで、お客様の改革を支援しています。



高成長・高収益を実現する経営

コムチュアグループは、決算期が2ヶ月と短かった創業の年を除いた2期目以降、年平均成長率が15.5%と創業以来右肩上がり、安定的に高成長を達成してまいりました。絶え間ないイノベーションを繰り返しながら時代に見合った新しい技術やサービスを取り入れ、お客様に提供してきたことが、高い成長を実現出来た理由です。

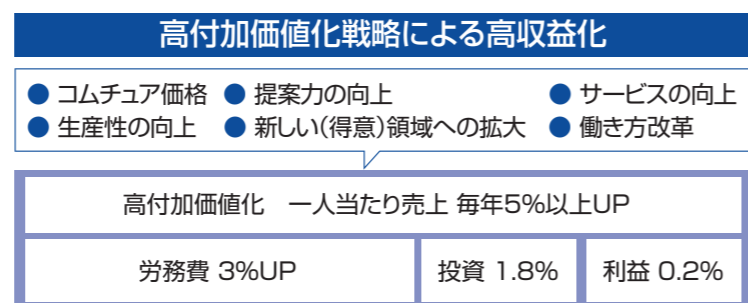
企業の成長の源泉は環境適応力です。ITの技術は常に変化をしており、古いものにとらわれず、新しい技術に対応しながら高成長、高収益を目指すことがコムチュアグループのDNAになっております。



高付加価値化戦略

高成長、高収益を実現するために高付加価値経営として一人あたり売上を毎年5%以上アップすることを継続しております。

正しい経営を進めていくことで、常に従業員および会社がともに成長するという好循環を生み出しております。



NEXT10に向け

これからの10年に向けた「NEXT10」においては、更なる革新的な領域であるデジタルトランスフォーメーション時代に向け、ビッグデータ、AI、RPA、IoT、フィンテックなどの最先端技術に他社に先駆け積極的に取り組んでまいります。

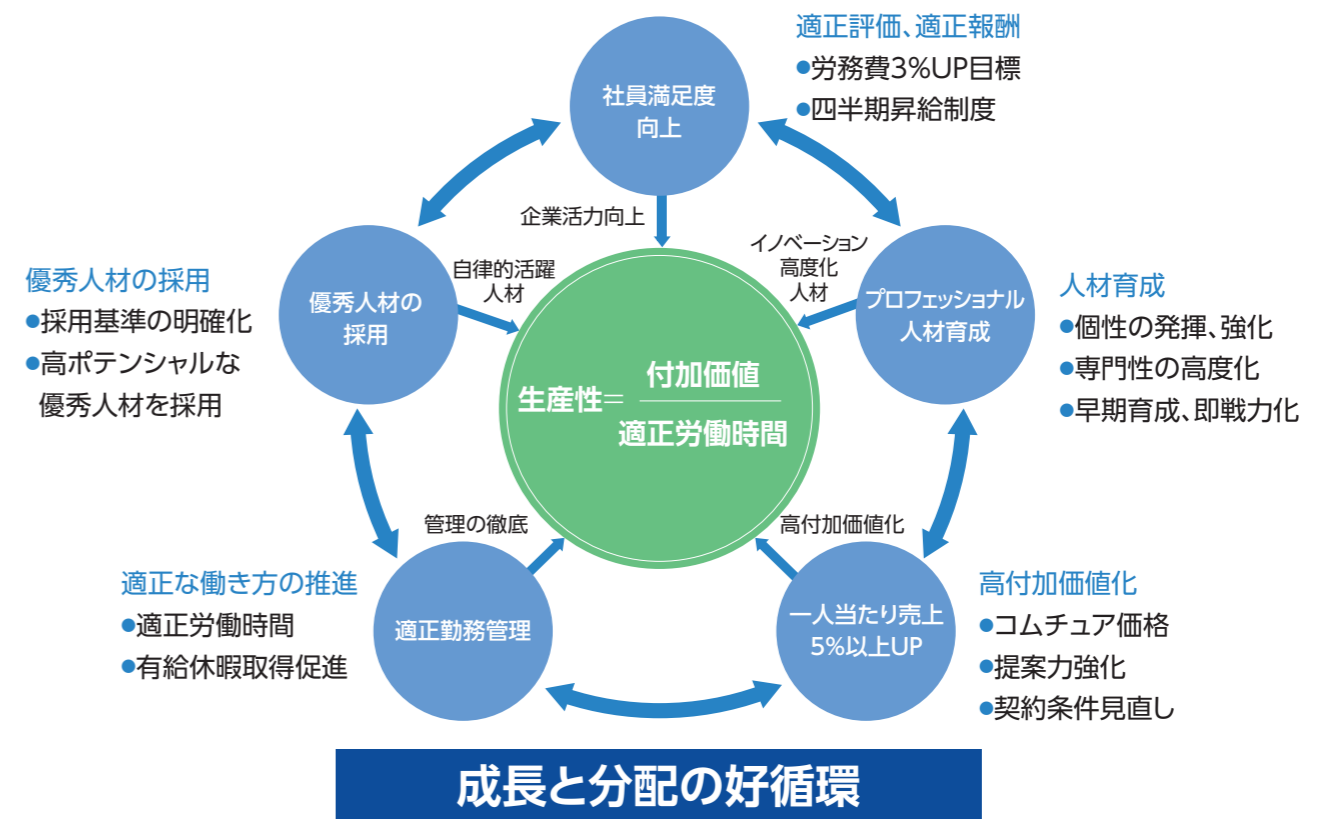
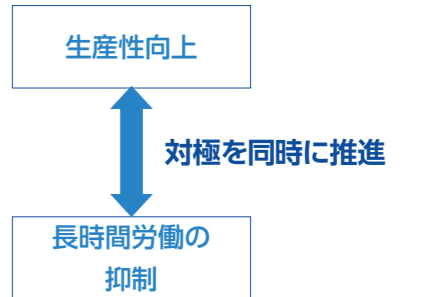
そのためにも「成長のための7つの基本戦略」を軸に、時価総額1,000億円を次の目標に置き、グループ丸となって組織力、技術力、提案力を総合的に高め更なる成長を目指します。

成長のための7つの基本戦略

1.成長戦略	高付加価値経営により一人あたり売上の5%以上UP、案件総量3倍により、毎年2桁成長を実現
2.顧客戦略	「ささやきをカタチにする」活動を通し、お客様の深掘りと攻めの戦略的提案力の強化により、更なる顧客を獲得
3.人材戦略	働く環境を整え、優秀な人材を採用し、階層別教育とOJT中心の早期育成を図り、顧客要求に応えるリソース基盤を強化
4.イノベーション戦略	クラウド、ビッグデータ、AI、RPA、IoT、フィンテック等、成長領域ビジネスの早期立上げと拡大
5.品質戦略	プロジェクト管理の精緻化、品質・工程と原価の見える化を進め、サービス品質、顧客満足の上昇を促進
6.財務戦略	経営指標(KPI)を明確にし、ROE20%以上の安定的な経営基盤を基調とする資本効率重視の価値創造企業
7.提携戦略	相乗効果を前提に、事業基盤強化を狙った業務提携の積極的な取組みとM&Aにより成長スピードを加速

コムチュアの働き方改革

- 1 優秀な人材を採用し、プロフェッショナル人材の早期育成を図る
- 2 適正な労働時間管理と有給休暇取得促進により適正な働き方を推進
- 3 適正評価と適正報酬の実現
- 4 高付加価値経営による一人あたり売上毎年5%以上UP



TOPICS

CSR/社会貢献活動の取り組み

「ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント」への協賛を通じた災害復興の支援

「ゴルフを通じて社会貢献を」という主旨で開催されているゴルフトーナメントに2018年より協賛しております。本大会は、青木功氏、王貞治氏、日野皓正氏を大会実行委員とし、主旨に賛同したスポンサー各社と著名人の協力により開催されています。収益は災害の復興支援等への活用を目的としています。



当社ロゴの前で池田勇太プロと向会長

「藍綬褒章」を受章

当社代表取締役会長の向浩一が、平成30年春の褒章において「藍綬褒章」(新規産業功績)を受章

藍綬褒章の伝達式は5月15日(火)に執り行われ、その後皇居に参内し、天皇陛下から拝謁の栄を賜りました。受章理由は、創業以来、常に先進的な技術領域にチャレンジし続け、高付加価値経営により企業価値向上に努めるなど、高収益企業として社業拡大に努めたこと等が評価されたものです。



向会長が代表として褒章を受章

RPA、ビッグデータ・AIを活用!

デジタルトランスフォーメーション時代のIT活用において、コムチュアグループはRPAとビッグデータ・AIのビジネスを積極的に拡大しています。

1 RPA導入で「働き方改革」を支援

「働き方改革」の時代において、コムチュアがかねてから注力してきたクラウド、ビッグデータ、AIに加えて、RPA(ロボット・プロセス・オートメーション)関連ビジネスも本格化し、今後のビジネスの急拡大が見込まれます。

Q そもそもRPAとは?

ソフトウェア・ロボットによって、人の代わりにパソコン操作などを自動化する技術で、作業時間短縮や作業ミス削減などを実現する「ホワイトカラーの生産性向上」のためのソリューションの一つです。

Q なぜ今RPAが注目されているの?

社員のPC雑務を減らし、より価値の高い仕事の割合を増やすことで、社員のモチベーションアップや企業の付加価値の向上につなげるなど、RPAがそれを実現する技術として高い注目を浴びています。

Q RPAの効果は?

RPAによる自動化で、作業時間を80%以上も短縮できるケースもあり、RPAは導入効果が高く、導入を検討し始めた企業が日本国内でも急増しています。

コムチュアではRPA導入・定着化をワンストップで支援



2 ビッグデータ・AIを用いたデータ分析

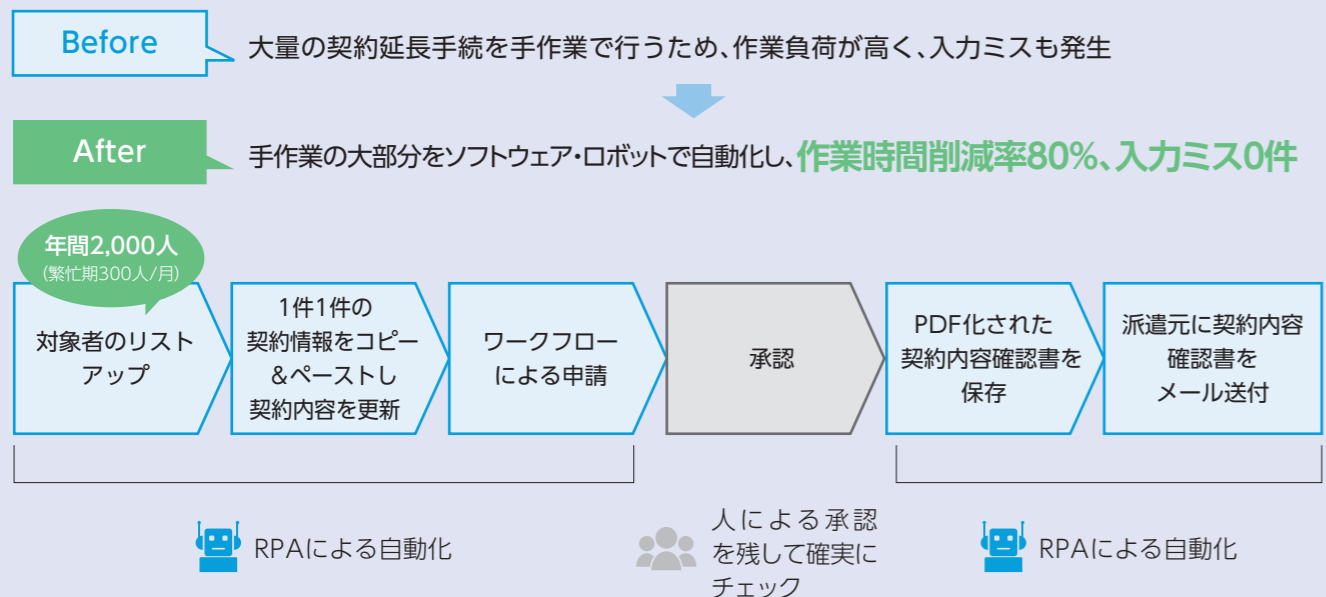
Q 「ソーシャルメディア・クチコミ分析」とは?

TwitterやFacebook、Instagramなどのソーシャルメディア(SNS)内に存在するクチコミなどのWeb上のデータを収集し、ビッグデータ・AIの手法を用いて分析することにより、販売促進や製品開発などに活用していく仕組みです。昨今のソーシャルメディア上のクチコミ分析や対応などの取組みは、企業のマーケティング活動において重要な領域となってきました。



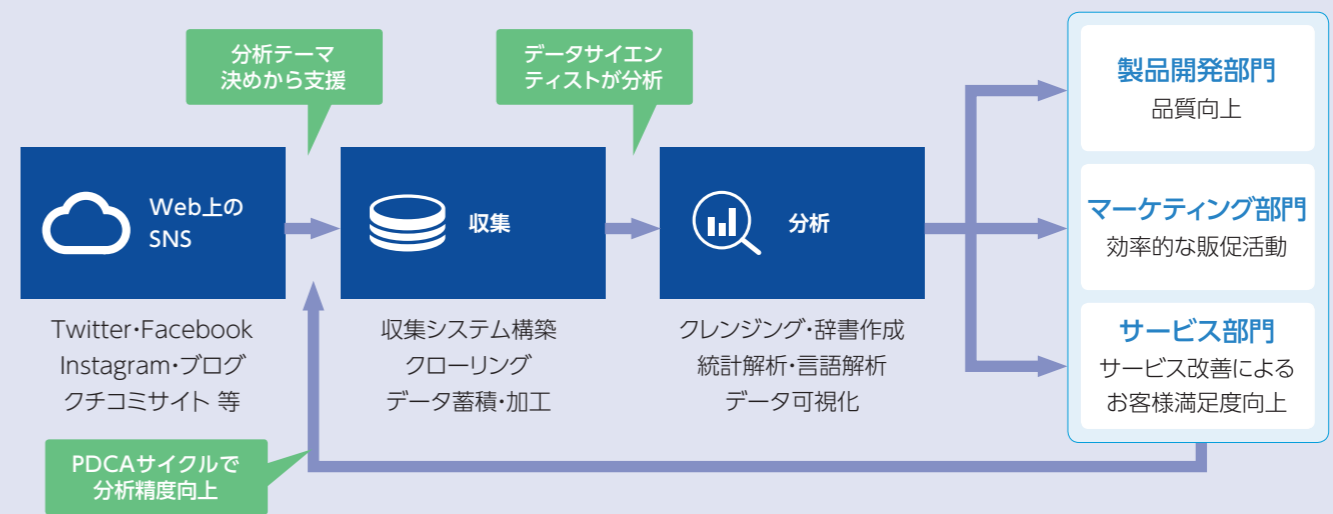
事例紹介 大手製造業様向け RPA導入検証支援

RPAによる業務効率化を導入するにあたり、手作業にて派遣契約延長手続を実施していた人事部門にてまずテスト導入することとなり、作業時間の短縮と作業ミスの削減につなげました。



事例紹介 大手製造業様向け SNS・クチコミ分析システム構築

お客様は、これまでもWeb上にあるSNSの分析を行っていましたが、活用がなかなか進んでいませんでした。そこでコムチュアは、ビッグデータ・AIの技術やWeb上で収集したデータのクレンジング(関係のない阻害データの削除)、辞書の作成といった分析のノウハウにより、業務に活用できるデータを導き出し、より精度の高いSNS・クチコミ分析の仕組みを構築しました。



※記載されている会社名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

日本経済新聞社・東京証券取引所
JPX日経中小型指数構成銘柄200銘柄に選定

2017年10月1日付で
1株につき3株の株式分割を実施

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的に、株式分割を行いました。

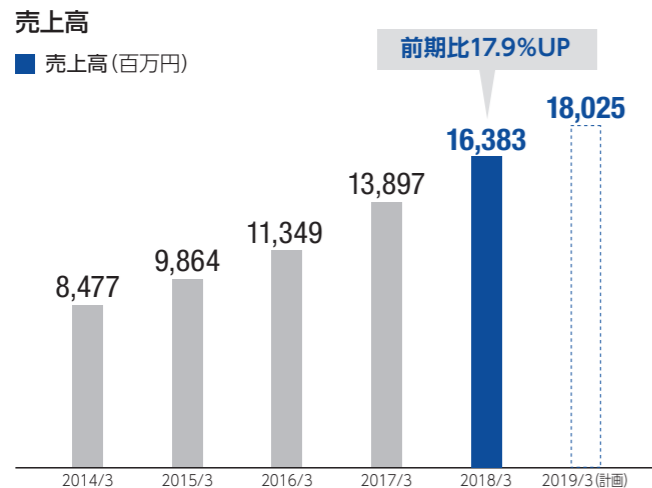
Q 資産価値に影響はありますか。

A 株式市況の変動など他の要因を別にすれば、**株式分割が株主様の所有する当社株式の資産価値に影響を与えることはありません。**

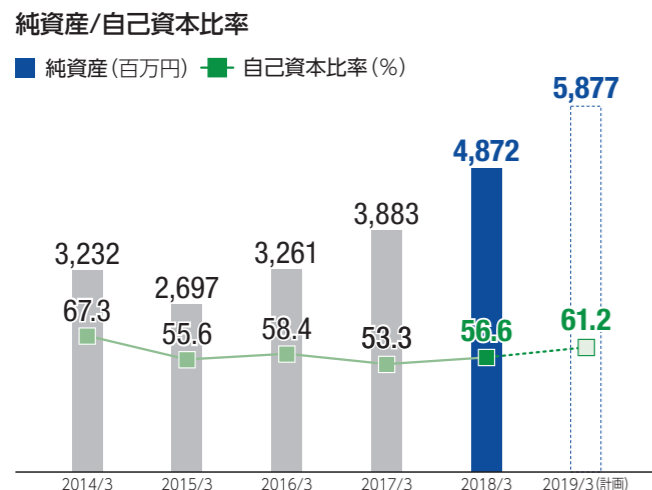
Q 受け取る配当金はどうなるのでしょうか。

A 業績変動その他の要因を別にすれば、**株式分割を理由として株主様の受取配当金総額に影響が生じることはありません。**

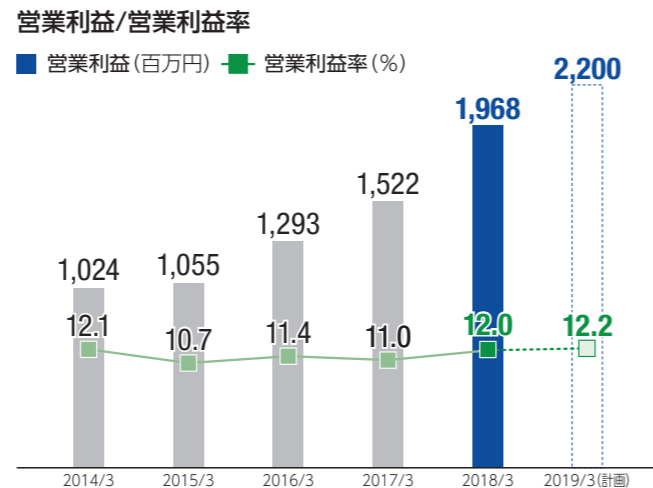
毎年2桁成長による売上の拡大



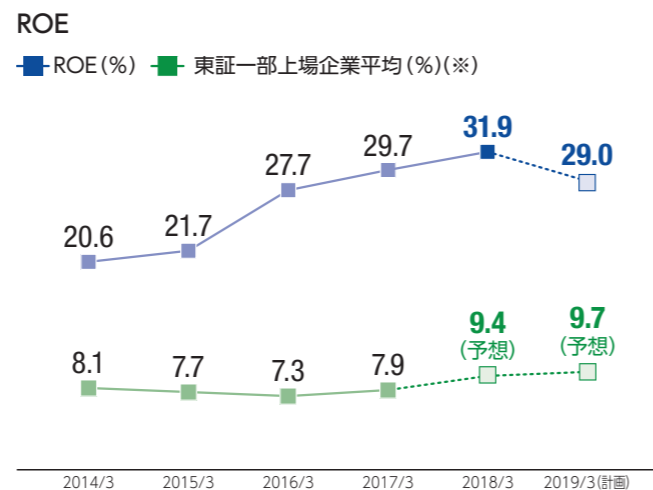
健全な財務体質



毎年営業利益率0.2ポイント向上



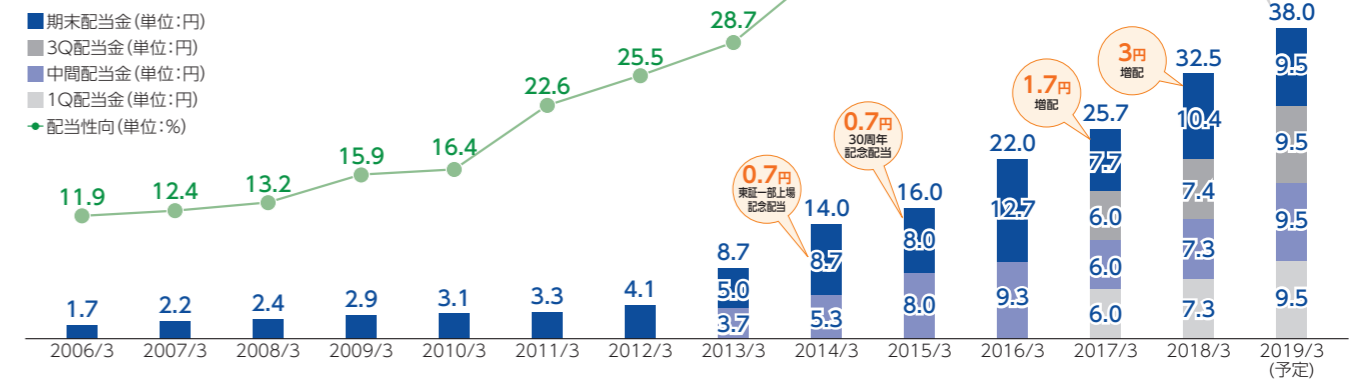
ROEは20%を超える高収益体質



株主還元

配当金

14期連続増配を
計画しています。



株主優待制度

2019年3月期の
優待込みでの**総配当性向は41.8%**となります。
(300株保有の場合)

1,000円分のQUOカードを
年2回贈呈いたします。



項目	内容
保有株式数	300株 (3単元) 以上
優待品の内容	QUOカード (クオカード) 1,000円分
発行基準日	3月31日 / 9月30日
贈呈の時期	6月下旬 / 12月上旬

四半期配当制度

安定経営により四半期業績も安定しているため、
9.5円の配当を**年4回** (2019年3月期)
実施いたします。

配当支払いスケジュール

配当支払期	配当金受領株主確定日	配当支払い開始日(予定)
第1四半期配当金	2018年 6月30日	2018年 8月31日
第2四半期配当金	2018年 9月30日	2018年 11月30日
第3四半期配当金	2018年 12月31日	2019年 2月28日
第4四半期配当金	2019年 3月31日	株主総会における承認日の翌営業日

主要連結財務データ

科目	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3 (計画)
経営成績 (百万円)						
売上高	8,477	9,864	11,349	13,897	16,383	18,025
営業利益	1,024	1,055	1,293	1,522	1,968	2,200
経常利益	1,043	1,059	1,295	1,542	2,010	2,215
親会社株主に帰属する当期純利益	615	641	823	1,061	1,395	1,560
財政状況 (百万円)						
総資産	4,800	4,844	5,582	7,285	8,600	9,605
純資産	3,232	2,697	3,261	3,883	4,872	5,877
キャッシュ・フロー (百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	656	727	780	933	1,953	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1	34	△103	△627	378	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△1,243	△252	△90	△643	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,354	1,873	2,297	2,513	4,200	-
1株当たりデータ (円)						
当期純利益	38.75	40.36	56.61	72.91	95.69	106.90
純資産	201.91	185.43	223.84	266.51	333.81	402.77
配当金	14.0	16.0	22.0	25.7	32.5	38.0
主要経営指標 (%)						
総資産利益率 (ROA)	13.8	13.3	15.8	16.5	17.6	17.1
株主資本利益率 (ROE)	20.6	21.7	27.7	29.7	31.9	29.0
自己資本比率	67.3	55.6	58.4	53.3	56.6	61.2
配当性向	36.1	39.6	38.9	35.2	33.9	35.5

※2017年10月1日を効力発生日として、1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の1株当たりデータは、期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しており、それ以前の数値も同様の仮定で算定しています。

▶ 株主との対話における取組みとIRスケジュール

対象	取組み	2018年度の活動予定
個人株主・ 個人投資家	IR説明会へ参加し、経営方針や事業戦略について説明、質疑応答に対応	<ul style="list-style-type: none"> ●個人投資家向けIR説明会への参加 5/26東京(大和IR) 6/30北海道(ラジオNIKKEI) 10/6福岡(ラジオNIKKEI) 12/1東京(大和IR) 12/8大阪(大和IR)  <p>個人投資家向け説明会の様子</p>
機関投資家 (国内・海外)	個別面談を通じて直接対話を実施	<ul style="list-style-type: none"> ●個別面談(四半期毎に20社程度の面談を実施予定、海外出張含む) ●証券会社主催の国内外カンファレンスへの参加



ラジオ出演の様様



YouTube コムチュア 検索

YouTubeで
決算説明動画を公開中!

会社データ

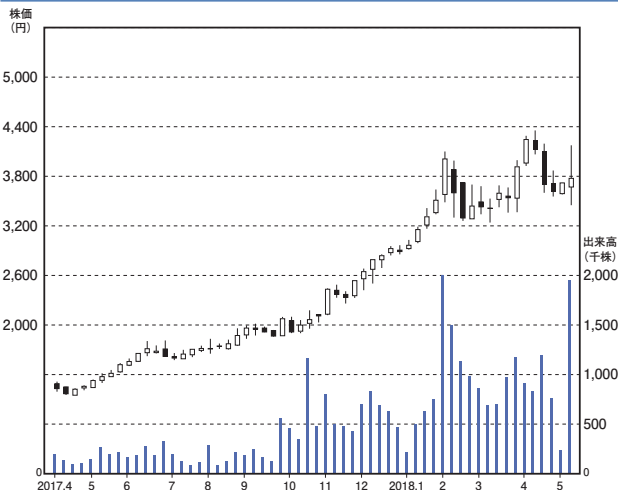
会社概要 (2018年4月1日現在)

商号	コムチュア株式会社 英文会社名:COMTURE CORPORATION
本社所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号
WEBサイト	https://www.comture.com/
設立年月	1985年1月
資本金	10億1,986万円
従業員数	1,202名
営業所	大阪営業所、名古屋営業所

取締役および監査役 (2018年6月15日現在)

代表取締役会長CEO	向 浩一
代表取締役社長COO	大野 健
専務取締役	澤田 千尋
常務取締役	野間 治
取締役	二村 修
取締役	宮武 敏彦
社外取締役	佐々木 仁
社外取締役	都築 正行
監査役	田村 誠二
社外監査役	井上 信一
社外監査役	和中 新一

株価チャート



※2017年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。分割前の株価は、株価の連続性を維持するため分割後の値に調整しております。

株式データ (2018年3月31日現在)

大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
有限会社コム	3,270,000	22.41
コムチュア社員持株会	781,900	5.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	664,500	4.55
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	640,000	4.39
株式会社三菱東京UFJ銀行 向 浩一	450,000	3.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	384,900	2.64
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW 大野 健	351,800	2.41
MSCO CUSTOMER SECURITIES	290,997	1.99
	279,750	1.92
	238,388	1.63

(注) 1. 当社は、自己株式1,490,490株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日に株式会社三菱UFJ銀行に商号変更されております。

株式の状況

発行可能株式総数	52,200,000株
発行済株式総数	16,083,000株
株主数	5,983名

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都府中市日鋼町一丁目1番 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL : (0120)232-711(通話料無料) TEL : (042)204-0303(通話料有料)
公告方法	電子公告により、当社Webサイトに公告いたします。但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に公告します。

ご注意

1. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。